

令和5年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

音 楽

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。




1 次の(1)~(8)の問題について、答えなさい。



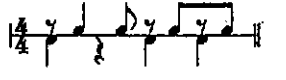
(1) 次の①~③の語句について説明せよ。

- ① ライトモチーフ ② トーン・クラスター ③ 三曲合奏

(2) 次の①~③の音楽について、基本的なリズムパターンをア~カから選び、記号で答えよ。

- ① タンゴ ② ビギン ③ スウィング

ア ...  イ ...  ウ ... 

エ ...  オ ...  カ ... 

(3) 次の①~③の文章が説明している我が国の伝統的な音楽に関する用語を答えよ。

- ① 「当世風の」という意味を持つ平安時代の流行歌。宮廷歌謡とは異なり庶民階層と貴族が共有し、後白河法皇が好んだ音楽としても知られている。
② 仏教の儀式や法会で経典などを唱える声楽曲。
③ 楽器の練習や暗譜、伝承のために用いられる一種のソルミゼーション。我が国の音楽に固有の音色や旋律、間などを表す。

(4) 我が国の郷土の音楽における2つのリズム様式について、具体的な曲名を挙げながらその特徴を説明せよ。

(5) ハンガリーの作曲家で、コダーイとともに西欧の影響のない農民の民俗音楽を採譜・収集し、それらを自身の作品に取り入れた作曲家と、その作曲家の作品を1つ答えよ。

(6) 授業の教材として使用する目的で、著作権法第35条により許容されている楽譜のコピーや配布を行う際の留意点を1つ答えよ。

(7) 次の文章は、ギターによる二重奏の学習において、ペアで演奏した録音を聴き、演奏について振り返った際の、授業者と生徒A・Bとの会話である。この会話において、授業者が下線部の質問をした理由を、旋律と伴奏のそれぞれにふさわしいギターの奏法とその特徴から説明せよ。

授業者：自分たちの演奏の録音を聴いて、どう感じましたか？
生徒A：伴奏しているコードの移り変わりには慣れてきたのですが、私の音そのものが大きく、Bさんの旋律が聴き取りにくいところがあったように思います。
生徒B：音が滑らかにつながっていて、旋律らしさを感じました。でも、Aさんの伴奏の音と比べると私の音はか細く感じられて、アンサンブルになっていないように感じました。
授業者：2人の課題は、演奏にまとまりを持たせることのようにですが、2人はそれぞれどのような奏法で演奏していましたか。

(8) 題材名を「世界の声の音楽」とし、モンゴルの「ホーミー」を主教材とする鑑賞の学習を構想する。次の①、②の問いに答えよ。

- ① 生徒が主教材の特徴に気付けるよう、別の教材と比較して鑑賞させたい。別の教材を1つ挙げ、その音楽が主として演奏される国又は地域と、比較するポイントを具体的に説明せよ。
② ①を踏まえ、生徒が学習で活用するワークシートを、期待される生徒の記述も含めて作成せよ。作成に当たっては、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)における「音楽I」の〔共通事項〕に示された「ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。」を踏まえること。

2 次の文章は、「音楽と他の学問分野との関わりを考える」という課題に対して、生徒が用意した発表メモの一部である。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

私は、音や音楽について、物理や地理との関係で調べてきました。

音を、物理の視点から捉えると、3つの要素があります。1つ目は、音の です。物理学ではデシベル (dB) という単位を伴う数値で絶対的に表されますが、西洋音楽における楽譜では、記号で 的に表されます。具体的には や などの記号です。2つ目は、音名や階名に関係する音の です。物理学ではヘルツ (Hz) という単位で表される周波数がこれに当たります。3つ目は音色で、物理学では周波数スペクトルと呼ばれます。

音楽を奏でる楽器を地理の視点で見ると、中国からもたらされたピパに由来する日本の琵琶と同じような形状の楽器として、西アジアには が、ヨーロッパには吟遊詩人などが歌の伴奏として用いていた があります。

- (1) 空欄 ～ に当てはまる語や記号を答えよ。
- (2) 下線部 _____ について、400Hz の音と600Hz の音を、同時に鳴らした時に生じる音程を答えよ。
- (3) 下線部 _____ について、ICTを活用しブラウザ上で動くスペクトルアナライザを用いると、録音した音を視覚的に捉えることができる。器楽の学習で活用する場合、どのような場面での活用が効果的か答えよ。
- (4) 下線部 _____ に関連して、東洋と西洋の社会が影響を及ぼしあった、ユーラシア大陸を通る歴史的な交易路の総称を答えよ。
- (5) 下線部 _____ について、発表メモに文学や歴史的な視点を加えさせたい。どのような内容が考えられるか、具体的に答えよ。

3 次の表は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）における「音楽Ⅰ」及び「音楽Ⅱ」の目標を示したものである。後の(1)～(3)の間に答えなさい。

表

「音楽Ⅰ」	「音楽Ⅱ」
<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の <input type="text" value="a"/> について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己の <input type="text" value="b"/> をもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	<p>音楽の <input type="text" value="c"/> を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と <input type="text" value="d"/> 関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の <input type="text" value="a"/> について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを <input type="text" value="d"/> 味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の <input type="text" value="c"/> に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

- (1) 空欄 ～ に当てはまる語を答えよ。
- (2) 下線部 _____ とはどのような意味か、① 活動の種類、② 用いる教材の2つの視点から説明せよ。
- (3) 下線部 _____ についての「高等学校学習指導要領解説 芸術編」（平成30年7月）における文章のうち、空欄 ～ に当てはまる語を、以下のア～ケから選び、記号で答えよ。

表現領域に関することについて、個性豊かになしているのは、「音楽Ⅰ」の学習を基礎にして、 を充実させ、自分の を生かした音楽表現について考え、 を明確にしていくことが大切だからである。

- | | | |
|-------------|----------|------------------|
| ア … 表現意図 | イ … 表現活動 | ウ … 個別最適な学習 |
| エ … 個に応じた学習 | オ … 音楽性 | カ … 主体的・対話的で深い学び |
| キ … 思いや意図 | ク … 持ち味 | ケ … 知識及び技能 |

4 次の旋律A～Cについて、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。

① Allegro assai

旋律A 

② Larghetto

旋律B 

旋律C 

- (1) 旋律Aが含まれる楽曲の作品と作曲者を答えよ。
- (2) 旋律Bに続く4小節を書け。
- (3) 旋律Cを、調号を用いて短3度低く移調し、音符に対応するよう歌詞を書け。
- (4) ①、②の用語の意味と、③、④の音程の転回音程を答えよ。
- (5) 旋律Aを鑑賞、旋律Bを歌唱、旋律Cを器楽の学習における主教材としたい。それぞれの学習における「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準を作成する際、「扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容など、生徒に興味・関心をもたせたい事柄」を答えよ。
- (6) 「音楽I」の創作の学習において、「音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能」を身に付けさせたい。旋律Aを元の旋律として、生徒に示す変奏の例を2つ作成し、働きを変化させた要素と、その変化が生み出す音楽の表情や雰囲気について説明せよ。

音楽解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(5年)

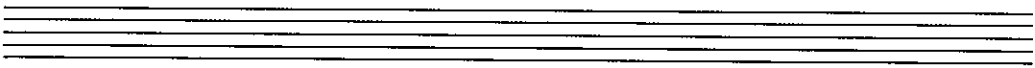
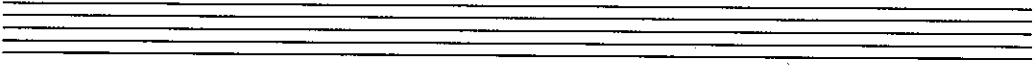
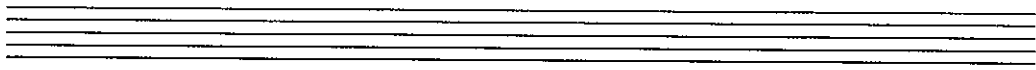
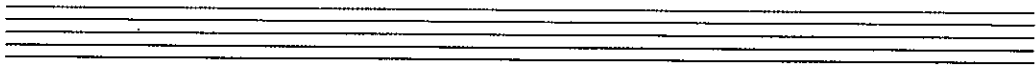
1	(1)	①				
		②				
		③				
	(2)	①	②	③		
	(3)	①	②		③	
	(4)					
	(5)	作曲家			作品	
	(6)					
	(7)					
	(8)	①	教材			国・地域
ポイント						
	②					

2	(1)	a			b			c			
		d			e			f			
		g									
	(2)										
	(3)										
	(4)										
(5)											

音楽解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(5年)

3	(1)	a		b		c	
		d					
	(2)	①					
		②					
	(3)	i		ii		iii	

4	(1)	作品		作曲者			
	(2)						
	(3)						
	(4)	①		②		③	
		④					
	(5)	旋律A					
		旋律B					
		旋律C					
	(6)	変奏の例1					
			説明				
変奏の例2							
		説明					

以下はあくまでも解答の一例です。

音楽解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名	(5年)
--------	-------	------	----	------

1	①	例：ヴァーグナーの後期の楽劇などに見られる作曲技法で、音楽上の動機によって、ある人物、場面、想念などを表すもの。 [4]																				
		例：2度以下の音程でぶつかり合う音を多数同時に鳴らす作曲手法 [4]																				
		例：箏、三味線、尺八（又は胡弓）の合奏 [4]																				
	(2)	①	ア [3]	②	カ [3]	③	オ [3]															
	(3)	①	今様 [3]		②	声明 [3]		③	口唱歌（唱歌） [3]													
	(4)	例：八木節に代表される八木節様式は、明確な拍をもったリズム様式であり、江差追分に代表される追分様式は、歌詞の各音節が自由な音価でうたわれるリズム様式である。 [6]																				
	(5)	作曲家	バルトーク・ベーラ [4]				作品	例：15のハンガリー農民の歌 [4]														
	(6)	例：コピーは授業で必要な限度内の部数とすること。 [4]																				
	(7)	例：旋律にはしっかりとした音量で演奏できるアポヤンド奏法、伴奏には柔らかく静かな音の出るアル・アイレ奏法が向いており、生徒に奏法と音色や強弱について気付かせるため。 [6]																				
	8	①	教材	例：ブルガリアン・ヴォイス [3]				国・地域	例：ブルガリア [3]													
ポイント			例：声の音色や歌手の人数によるテクスチュアの違い [3]																			
②		<p>例： [16]</p> <p>2つの音楽を聴き、音色や声の重なり（テクスチュア）などの「聴き取ったこと」と、雰囲気や特質などの音楽全体から「感じ取ったこと」をまとめ、関係する内容を線で結びましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">音楽の名称</th> <th style="width: 25%;">聴き取ったこと (声の音色や重なりなど)</th> <th style="width: 10%;">関係</th> <th style="width: 40%;">感じ取ったこと (雰囲気や特質)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームー</td> <td>・1人で歌っていても、2つの声が重なっている ・ヒューンという音色</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>・不思議な世界 ・呪文のよう</td> </tr> <tr> <td>ブルガリアン・ヴォイス</td> <td>・大勢が2つのパートに分かれ、音がぶつかるように歌っている ・まっすぐ伸びる地声</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td>・硬質な響き ・神秘的な雰囲気</td> </tr> </tbody> </table>										音楽の名称	聴き取ったこと (声の音色や重なりなど)	関係	感じ取ったこと (雰囲気や特質)	ホームー	・1人で歌っていても、2つの声が重なっている ・ヒューンという音色	/	・不思議な世界 ・呪文のよう	ブルガリアン・ヴォイス	・大勢が2つのパートに分かれ、音がぶつかるように歌っている ・まっすぐ伸びる地声	X
音楽の名称	聴き取ったこと (声の音色や重なりなど)	関係	感じ取ったこと (雰囲気や特質)																			
ホームー	・1人で歌っていても、2つの声が重なっている ・ヒューンという音色	/	・不思議な世界 ・呪文のよう																			
ブルガリアン・ヴォイス	・大勢が2つのパートに分かれ、音がぶつかるように歌っている ・まっすぐ伸びる地声	X	・硬質な響き ・神秘的な雰囲気																			

2	(1)	a	大きさ [2]	b	相対 [2]	c	例：f [2]	
		d	例：p [2]	e	高さ [2]	f	ワード [2]	
		g	リュート [2]					
	(2)	完全5度 [4]						
	(3)	例：楽器の音を客観的に捉え、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの課題に対する気づきを促す場面 [6]						
(4)	シルクロード [2]							
(5)	例：琵琶の伴奏で「平家物語」を語る平曲の成立した年代や全盛期を迎えた年代を含めるよう助言する。 [6]							

音楽解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(5年)

3	(1)	a	多様性 [3]	b	イメージ [3]	c	諸活動 [3]
		d	深く [3]				
	(2)	①	歌唱、器楽、創作の各表現活動と鑑賞活動のいずれも扱うこと [5]				
		②	我が国及び諸外国の様々な音楽を教材として用いること [5]				
(3)	i	エ [3]	ii	ク [3]	iii	ア [3]	

4	(1)	作品	交響曲第9番ニ短調 [3]	作曲者	ベートーヴェン [3]		
	(2)					[6]	
	(3)					移調 [4] 歌詞 [2]	
	(4)	①	非常に速く [2]	②	Largo よりやや速く [2]	③	減5度 [2]
		④	長6度 [2]				
	(5)	旋律A	例：様々な音色や表現形態が変化していく「歓喜の主題」 [4]				
		旋律B	例：曲想と音楽の構造と愛しい人を思う歌詞との関わり [4]				
		旋律C	例：三線の基本的な奏法とその音色 [4]				
	(6)	変奏の例1	例： 				[6]
		説明	例：「リズム」を変化させ、力強く重々しい雰囲気にした。 [4]				
	変奏の例2	例： 				[6]	
	説明	例：「旋律」が基づく調、「強弱」、「リズム」を変化させ、厳かで落ち着いた雰囲気にした。 [4]					